

## 「絵仏師良秀」現代語訳

次の現代語訳をもとにして、傍線注釈をすること。なお、常用漢字は必ず漢字に直して記すこと。

①これもいまとなつてはむかしのことだがえぶつしりょうしゅうというものがいたそうだ。②いえのとなりからかさいがはつせいしてかぜがおおいかぶさるようについてひがせまつてきたのでりょうしゅうはにげだしておおどおりにでてしまった。③ひとがりようしゅうにかかせているほとけもいえのなかにいらつしやつた。④またうわぎもきないつまやこどもなどもそのままいえのなかにいた。⑤りようしゅうはそんなこともかまわずにただじぶんがにげだしたのをよいことにしておおどおりのむこうがわにたつていた。

⑥みるとひはすでにわがやにもえうつつてけむりやほのおがくすぶりだしたころまでりようしゅうはそのあいだほとんどむかいがわにたつてながめていたところ⑦たいへんなことだといってひとびとがみまいにきたがりようしゅうはすこしもあわてない。⑧どうしたのですか。とひとがいったところりようしゅうはむかいにたつていえがやけるのを見てしきりにうなづいてときどきわらつた。⑨あいたいへんなもうけものをしたことよ。ながねんのあいだえをまずくえがいてきたものだなあ。というときに⑩みまいにきていたものたちがこれはまたどうしてこうしてたつておいでなのか。⑪あきれたことだなあ。あやしげなれいがとりつきなさつたかといったところ⑫どうしてあやしげなれいがとりつくはずがあるうか。(そんなはずはない。)ながねんのあいだどうみようおうのかえんをへたにえがいてきたことだなあ。⑬いまみるとひというものはこのようにこそめるものだったよとさつたのだ。これこそもうけものよ。⑭ぶつがえがくことをせんもんとしてせけんをわたるからにはほとけだけでもじょうずにえがきもうしあげたらひやくやせんのいえだつてきつとたてることができるだろう。⑮おまえさんたちこそこれとிட்டさいのうもおもちあわせにならないのでものをおしんだりなさるのだ。といつてあざわらつてたつていた。

⑯そのちであらうかりようしゅうのよじりふどうといつていまにいたるまでひとびとがしようさんしあつてゐる。

おしおほひ…「おし」  
＋「おほひ」

来<sup>き</sup>とぶらふ…「来」  
＋「とぶらひ」

⑬で「」を付け  
られるところはどこ  
か？